

# 第 1 学年 算数科学習指導案

児 童 1 年 1 組 ( 男子 9 名 女子 1 4 名 計 2 3 名 )  
指 導 者 久 保 田 葉 子

児 童 1 年 2 組 ( 男子 7 名 女子 1 4 名 計 2 1 名 )  
指 導 者 田 中 元 明

## 1 単元名 たしざん

## 2 単元について

加法計算は、これまでに1位数と1位数の加法、 $10 + 1$ 位数などの計算で、いずれも繰り上がりのない場合を扱ってきた。また、前単元では3口の加法を取り上げた。これは本単元の繰り上がりのある加法計算の方法に有効にはたらくことを意図している。本単元では、上記の学習をもとにして、1位数に1位数をたして繰り上がりのある加法計算について指導する。繰り上がることを、「10といくつ」とみる考え方で計算する方法を導き、十進法に基づいた基本となる計算原理が身につくように指導する。そして、くり返し練習することより、繰り上がりのあるたし算の計算能力を高めていくことをねらいとする。

学年の児童は、算数の学習についてのアンケートに「算数の学習が好き」「どちらかといえば好き」と答えている子がほとんどで、意欲的に学習している。加法計算については、合併・増加といった加法の意味をよく理解している。しかし、計算の際は4分の1の子がブロックを使っており、その操作の速さも様々である。また、わからない問題があったとき、「自分から質問することができない」と答えている子が数名いる。

本単元の指導にあたっては、加数分解の方法を導入する。 $10$ の補数をつくりやすいように、被加数が9の場合について取り上げ、順に8、7と広げていく。次に被加数分解にも触れ、どちらの考え方もできることに気づかせたい。具体的な手立てとしては、 $10$ のまとまりに気づき、数の合成や分解ができるように、「ブロック操作」と「言葉による説明」「計算図」の3つを対応させながら計算の手順をしっかりとつかませたい。特に計算図は、「10といくつ」という考え方が定着するまで継続して指導していきたい。

また、1位数に1位数をたして繰り上がりのある加法計算は加法計算の基礎となる内容なので、カードによる練習やゲーム遊びなどを取り入れて、子どもが意欲的に取り組めるよう工夫し、習熟を図っていきたい。

## 3 単元の目標

1 位数に 1 位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを理解し、それを用いることができる。

[ 関心・意欲・態度 ] ・数の構成や $10$ の補数などの学習経験を生かして1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを進んで考えようとする。

[ 数学的な考え方 ] ・ $20$ までの数の構成や $10$ の補数に着目して計算のしかたを考える。

[ 表現・処理 ] ・1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算ができる。

[ 知識・理解 ] ・1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを理解する。

#### 4 . 関連と発展

5 単元の指導構想表（別紙） 1 1 時間 + 2 時間

6 評価規準表（別紙）

7 個への配慮

既習内容を定着させた上で本単元に入ること，習熟の程度や作業の早さに応じて指導していくことをめざして，次のような手立てを考えた。

< 本単元に入る前の手立て >

10 までの数のたしざんひきざんについて毎日取り組み習熟を図った。

10 の補数・10 以下の数の構成・20 までの数についての復習に補充時数を充て一斉指導の中で復習した。

の内容について落ち込んでいる項目については，授業時間以外で個別指導を行った。

< 授業の中での手立て >

計算図，念頭での計算へとスムーズに移行できるよう，全体でブロックでの操作を十分に行い，ブロックから離れる時期については，個々の習熟の程度にに対応する。

単位時間内のひろめる段階では，3 段階の問題を用意し，個に応じて進めるようにする。

活動に入るまでに時間のかかる子には早めに声をかけ，自分の声を出し，自分の手を動かして学習が進められるよう支援したい。

8 本時の指導【4 / 1 1時】－1年1組

- (1)目標 1位数どうしの繰り上がりのある加法で,加数分解による計算が確実にできる。  
 (2)展開

段階	学習内容と活動	活動への支援・留意点	備考
つかむ 5分	1 問題をとらえる。  7 + 6  2 課題をつかむ。  7ではじまるたしざんをかんがえよう。	・前時の学習を振り返り,本時へつなげる。	
みとおす 10分	3 自力解決の見通しをもつ。 10のまとまりをつくる。  4 自力解決をする。 ア 式 イ 図 ウ ブロック	・前の時間の学習を思い出させ同じやり方が使えることに気づかせる。  ・どのやり方でも,6のなかの3を7にたして10をつくる考え方で答えを求めているか確認する。	(準) 教師用ブロック
たしかめる 10分	5 各自の考えを発表し合う。  ア 7に3をたして10。 10と3で13  6 類似問題を解く。 7 + 5	・10のまとまりをつくって計算することを式(計算図),図,ブロックの3つの方法で確かめ,理解を確実なものにする。  ・被加数が7の場合は,3をたして10のまとまりを作ることを確認する。	
まとめる 7分	7 学習のまとめをする。  7に3をたして,10のまとまりをつくる。	・被加数が9,8のたしざんにも触れる。	
ひろめる 13分	8 練習問題を解く。 7 + 4 7 + 7  7 + 6    7 + 4 7 + 5    8 + 4 8 + 3    8 + 5 9 + 2    9 + 4 9 + 6    8 + 5 7 + 6    8 + 3 9 + 5    7 + 5 9 + 3    8 + 6	・被加数が7の場合は全員で答え合わせをする。  ・被加数が7,8,9と順番に並ぶ。  ・被加数がばらばらに出てくる。	(評) <表> A 加数分解による計算が,念頭で速く正確にできる。 B 加数分解による計算が,正確にできる。 C 児への手立てとしてブロックで正確に答えを出させる。

(3)評価

<表> 加数分解による計算が確実にできたか。

8 本時の指導【1 / 1 1 時】 1年2組

(1)目標 1位数どうしの繰り上がりのある加法を, 10のまとまりに着目して考えることができる。

(2)展開

段階	学習内容と活動	活動への支援・留意点	備考
つかむ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>さし絵の場面を話し合わせる。</li> <li>1 問題をとらえる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     たけしさんはどんぐりを9こ, みきさんは4こひろいました。 あわせてなんこひろいましたか。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への関心を高める。</li> </ul>	(準)紙板書 教師用ブロック 児童用ブロック
	<ul style="list-style-type: none"> <li>立式する。</li> <li>2 課題をつかむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     こたえが10より大きくなるたしざんのけいさんをかながえよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の構造は既習事項と同様であることをとらえさせる。</li> <li>既習のたし算との違いについて考えさせる。</li> </ul>	
みとおす 7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 解決の見通しをもつ。</li> <li>・ブロック</li> <li>・図</li> <li>4 自力解決をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解決の手段に見通しをもち, 自由に考えさせる。</li> <li>早く解決できた子は, 別な方法で考えたり, 友達にわかるように説明を考えさせたりする。</li> </ul>	(評) <考> A 1位数 + 1位数の繰り上がりのある計算の仕方について10のまとまりを作ることに着目して, 加数をほかの数の和として考えている。 B 1位数 + 1位数の繰り上がりのある計算の仕方について10のまとまりを作ることに着目して考えている。
たしかめる 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 各自の考えを発表し合う。</li> <li>ア 数えたし 9, 10, 11, 12, 13</li> <li>イ 加数分解 <math>9 + 1 + 3 = 13</math>                                   + +</li> <li>6 類似問題をする。</li> <li>P. 66ぶどう <math>9 + 3</math></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの考え方がわかりやすいか考えさせる。</li> </ul>	
まとめる 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 学習のまとめをする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     9に1をたして10のまとまりをつくる。                 </div>		
ひろめる 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 練習問題をする。</li> <li>P, 66みかんの問題をする。</li> <li>9 次時の予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)(2)はみんなで練習する。</li> <li>問題を早く解決した子は, プリントをする。</li> </ul>	C 児への手立て 1位数 + 1位数の繰り上がりのある計算の仕方について, ブロック操作を繰り返し行うことによって, 10のまとまりを意識させる。

(3)評価

<考> 1位数どうしの繰り上がりのある加法を, 10のまとまりに着目して考えることができたか。

5.単元の指導構想図

11時間+予備時数2時間

小単元 時	9+4のけいさん				
	*	1(2組本時)	2	3	4(1組本時)
目標	繰り上がりのあるたしざんの解決のポイントとなる基礎事項を復習する。	1位数どうしの繰り上がりのある加法を、10のまとまりに着目して考えることができる。	1位数どうしの繰り上がりのある加法で、加数を分解して計算する方法について理解する。	1位数どうしの繰り上がりのある加法で、加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。	1位数どうしの繰り上がりのある加法で、加数分解による計算が確実にできる。
つかむ	1 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">数であそぼう</div>	1 問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">たけしさんはどんぐりを9こ、みきさんは4こひろいました。合わせてなんこひろいましたか。</div> 2 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">こたえが10よりおおきくなるたしざんのけいさんをかんがえよう。</div>	1 問題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">たけしさんはどんぐりを9こ、みきさんは4こひろいました。合わせてなんこひろいましたか。</div> 2 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">こたえが10よりおおきくなるたしざんのけいさんをかんがえよう。</div>	1 問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">8+3</div> 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">8ではじまるたしざんをかんがえよう。</div>	1 問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">7+6</div> 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">7ではじまるたしざんをかんがえよう。</div>
みとおす	・あといくつで10になるかな ・いくつといくつ ・10のまとまりをつくらう	3 解決の見通しをもち、自力解決する。 ・ブロックで考える。	3 解決の見通しをもち、自力解決する。 ・図で考える。 ・式で考える。	3 解決の見通しをもち、自力解決する。 ・ブロックで考える。 ・図で考える。 ・式で考える。	3 解決の見通しをもち、自力解決する。
たしかめる	・10といくつ(20までのかず)	4 各自の考えを発表しあう。 ア 9こと4こを数えたしする。 イ 9に4の中の1をたして10 10とのこりの3で13	4 各自の考えを発表しあう。 ア 9こと4こを数えたしする。 イ 9に4の中の1をたして10 10とのこりの3で13	4 各自の考えを発表しあう。 ア 8こと3こを数えたしする。 イ 8に3の中の2をたして10 10とのこりの1で11	4 各自の考えを発表しあう。 ア 7に6の中の3をたして10 10とのこりの3で13
まとめ		5 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">9に1をたして10のまとまりをつくる。</div>	5 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">9はあと1で10。4を1と3にわける。9に1をたして10。10と3で13。</div>	5 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">8に2をたして10のまとまりをつくる。</div>	5 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">7に3をたして10のまとまりをつくる。</div>
ひろめる		6 練習問題を解く。 (ブロックで)	6 練習問題を解く。 (計算図)	6 練習問題を解く。	6 練習問題を解く。
と課題を解決する基礎的事項		10の補数 10までの数の構成 10といくつ	10の補数 10までの数の構成 10といくつ	10の補数 10までの数の構成 10といくつ 10のまとまりをつくること	10の補数 10までの数の構成 10といくつ 10のまとまりをつくること

小単元	3 + 9のけいさん	かあどれんしゅう
時	5・6	7・8・9・10・11・*
目標	1位数どうしの繰り上がりのある加法で、被加数を分解して計算する方法について理解する。	加法の計算能力を高める。
つかむ	1 問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">         たまごはあわせてなんこですか。3 + 9       </div> 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">         あとのかずのほうがおおきいときのたしざんのけいさんをかんがえよう。       </div>	1 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">         かあどげえむをしよう       </div>
みとおす	3 解決の見通しをもち、自力解決する。 ・10のまとまりがつかれるか ・どちらを10のまとまりにするかな	・計算カードを使った計算練習 ・おおきさくらべ
たしかめる	4 各自の考えを発表しあう。 ア 3に7をたして10 10と2で12 イ 9に1をたして10 10と2で12	・かあどとり ・かあどあわせ ・ビンゴゲーム
まとめる	5 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">         おおきいほうのかずを10のまとまりにする。       </div>	
ひろめる	6 練習問題を解く	
課題解決の基礎的事項	10の補数 10までの数の構成 10といくつ 10のまとまりをつくること	10の補数 10までの数の構成 10といくつ 10のまとまりをつくること

